

しょうがいしゃ じょうほう しゅとくおよ りようなら いしそつう かか しさく すいしん かん ほうりつ  
障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律

しょうがいしゃじょうほう しさくすいしんほう がいよう  
(障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法) 概要

れいわ ねんほうりつだい ごう  
(令和4年法律第50号)

もくてき じょう  
目的(1条)

すべ しょうがいしゃ ぶんや かつどう さんか  
全ての障害者が、あらゆる分野の活動に参加するためには、  
じょうほう じゅうぶん しゅとくりよう えんかつ いしそつう きわ じゅうよう  
情報の十分な取得利用・円滑な意思疎通が極めて重要

しょうがいしゃ じょうほう しゅとくりよう いしそつう かか しさく そうごうてき すいしん きょうせいしゃかい じつげん し  
障害者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策を総合的に推進し、共生社会の実現に資する

きほんりねん じょう  
基本理念(3条)

しょうがいしゃ しょうがいしゃきほんほうだい じょうだい ごう きてい しょうがいしゃ じょう  
「障害者」: 障害者基本法第2条第1号に規定する障害者(2条)

しょうがいしゃ じょうほう しゅとくりよう いしそつう かか しさく すいしん あ むね じこう  
障害者による情報の取得利用・意思疎通に係る施策の推進に当たり旨とすべき事項

しょうがい しゅるい ていど おう しゅだん せんたく  
障害の種類・程度に応じた手段を選択できるようにする

にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ いとな ちいき ひと じょうほうしゅとくとう  
日常生活・社会生活を営んでいる地域にかかわらず等しく情報取得等ができるようにする

しょうがいしゃ もの どういつないよう じょうほう どういつてん しゅとく  
障害者でない者と同一内容の情報を同一時点において取得できるようにする

こうじょうほうつうしん りよう じょうほうつうしんぎじゅつ かつよう つう おこな しゃがい  
高度情報通信ネットワークの利用・情報通信技術の活用を通じて行う(デジタル社会)

かんけいしゃ せきむ れんけいきょうりよく いけん そんちょう じょう じょう  
関係者の責務・連携協力・意見の尊重(4条~8条)

くに ちほうこうきょうだんたい せきむとう じょう しょうがいしゃ もの し にんしき しさく おこな  
・国・地方公共団体の責務等(4条) 障害者でない者にも資することを認識しつつ施策を行う

じぎょうしゃ せきむ じょう くにん せきむ じょう  
・事業者の責務(5条) ・国民の責務(6条)

くに ちほうこうきょうだんたい じぎょうしゃとう そうご れんけいきょうりよく じょう しょうがいしゃとう いけん そんちょう じょう  
・国・地方公共団体・事業者等の相互の連携協力(7条) ・障害者等の意見の尊重(8条)

きほんてきしさく じょう じょう  
基本的施策(11条~16条)

しょうがいしゃ じょうほうしゅとくとう し ききとう じょう  
(1) 障害者による情報取得等に資する機器等(11条)

きき かいはつていきょう じょせい きかく の  
機器・サービスの開発提供への助成、規格の  
ひょうじゆんか しょうがいしゃ かいこしゃ じょうほうていきょう にゅうしゅしえん  
標準化、障害者・介助者への情報提供・入手支援

りようほうほうしゅとく とりくみ きょたくしえん こうしゅうかい  
利用方法習得のための取組(居宅支援・講習会・  
そうだんたいおうとう どうがいとりくみ おこな もの しえん  
相談対応等) 当該取組を行う者への支援

かんけいしゃ きょうぎ ば せっち など  
関係者による「協議の場」の設置 など

ぼうさい ぼうはんおよ きんきゅう つうほう じょう  
(2) 防災・防犯及び緊急の通報(12条)

しょうがい しゅるい ていど おう じんそく かくじつ じょうほうしゅとく  
障害の種類・程度に応じた迅速・確実な情報取得の  
たいせい せいびじゅうじつ せつび きき せっち すいしん  
ための体制の整備充実、設備・機器の設置の推進

たよう しゅだん きんきゅう つうほう しゅく せいび  
多様な手段による緊急の通報の仕組みの整備の  
すいしん  
推進 など

しょうがいしゃ じりつ にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ いとな  
(3) 障害者が自立した日常生活・社会生活を営むため  
に必要分野に係る施策(13条)

いしそつうしえんしゃ かくほ ようせい ししつ こうじょう  
意思疎通支援者の確保・養成・資質の向上

じぎょうしゃ とりくみ しえん など  
事業者の取組への支援 など

しょうがいしゃ そうだん しょうがいしゃ ていきょう じょうほう じょう  
(4) 障害者からの相談・障害者に提供する情報(14条)

くに ちほうこうきょうだんたい  
国・地方公共団体について

そうだんたいおう あ はいりょ  
相談対応に当たっての配慮

しょうがい しゅるい ていど おう じょうほう ていきょう はいりょ  
障害の種類・程度に応じて情報を提供するよう配慮

くにん かんしん りかい ぞうしん じょう  
(5) 国民の関心・理解の増進(15条)

ききとう ゆうようせい いしそつうしえんしゃ は やくわりとう  
機器等の有用性・意思疎通支援者が果たす役割等、  
しょうがいしゃ じょうほうしゅとくとう じゅうようせい かん かんしん りかい  
障害者による情報取得等の重要性に関する関心・理解  
ふか こうほう けいはつかつどう じゅうじつ  
を深めるための広報・啓発活動の充実 など

ちようさけんきゅう すいしんとう じょう  
(6) 調査研究の推進等(16条)

しょうがいしゃ じょうほうしゅとくとう かん ちようさけんきゅう すいしん  
障害者による情報取得等に関する調査研究の推進・  
せいか ぶきゅう  
成果の普及

しょうがいしゃきほんけいかくとう しょうがいしゃきほんほう はんえい しょうがいしゃはくしよ じっしじょうきょう めいじ じょう  
障害者基本計画等(障害者基本法)に反映・障害者白書に実施状況を明示(9条)

しさく じっし ひつよう ほうせいじょう ざいせいじょう そ ちとう じょう  
施策の実施に必要な法制上・財政上の措置等(10条)